

中野勝清

生と聖

おのおのが奏でる
おさえがたい律動と
よどみない循環が
おのずと調和へ手招かれ
安堵のうちに立ち現れる生の躍動
いのちの大合奏をまえに
賢しらな譜面は幻と露わになる
大地が響き、空気が揺れる
血がざわめき、熱を帯びる
小さくいびつであろうとも
あまねく音色に調和をもたらす
聖なる楽団
平凡な日常のひとコマに潜む
奇跡の異名